

構造科学の進展と新物質開拓

オーガナイザー：学習院大学	稲熊宜之	JFCC	加藤丈晴
名古屋工業大学	井田 隆	徳島大学	森賀俊広
東北大学	山根久典	北海道大学	分島 亮
名古屋工業大学	籠宮 功	東京工業大学	藤井孝太郎

セッション概要

セラミックス材料の開発において構造科学に基づく新規物質の設計・探索および機能開拓が不可欠であり、構造科学の進歩によって新規物質の開発が促進されることが期待される。また、最近では計算科学を取り入れた物質探索も盛んに行われており、その重要性はますます高まっている。そこで本セッションでは、新規物質・材料の探索、合成プロセスの開発、構造および物性の評価に関する先端的な研究の建設的な融合をはかることを目的とし、構造科学、物質合成および物性、そして計算科学分野の研究者が議論、情報交換を行うことにより実験と理論の両方の立場から新しい研究の方向性を見いだす場を提供する。

セッションキーワード・トピックス

新物質探索、構造物性、新規合成プロセス、原子化制御、構造解析、回折、電子顕微鏡、計算科学

招待・依頼講演者（予定）

松永克志（名古屋大学）、門馬綱一（国立科学博物館）、山浦一成（NIMS、北海道大学）、米沢 晋（福井大学）、他

発表形式

口頭発表・ポスター発表を募集します。ただし、申込件数により、発表形式の変更をお願いする場合があります。なお、若手（35 才以下）を対象とした優秀講演／ポスター賞の表彰を予定します。

共催・協賛（予定）

日本化学会、応用物理学会、日本金属学会、電気化学会、粉体粉末冶金協会、日本結晶学会、日本顕微鏡学会、日本放射光学会、日本鉱物科学会、日本高圧力学会、中性子科学会

連絡先 tkato@jfcc.or.jp（加藤丈晴）